

# 校内研究通信

令和4年6月10日  
福生市立福生第六小学校  
研究推進部通信 Vol. 1

## 研究主題

学びに向かう力を育むための指導の在り方を考える  
～「児童・生徒の学力向上を図るための調査」を通して～

昨年度の研究アンケートで、児童の粘り強さや、最後まであきらめないで取り組むことに課題があった。そのため、資質・能力の三観点のうち、「主体的に学習に取り組む態度」の向上を図るために、「児童・生徒の学力向上を図るための調査」を生かしながら研究を進めることとした。

6月15日（水）

## 第一回研究授業

社会科・生活科研究グループ

授業者 関根 夕紀 主任教諭

教科名 生活科

単元名 「まちが大すきたんけんたい」（せいかつ なかよしひろがれ 下 教育出版）

会場 2年1組教室

※感染症対策のため、分科会の先生のみ会場に入ります。

他の先生方は Teams で授業を参観します。

## 当日の流れ

### 特別時程

12:45 給食終了・下校開始

13:00 完全下校

※授業開始時刻に間に合うよう、速やかな児童の完全下校に御協力をお願いします。

13:15～13:20 学習の準備

13:20～14:05 研究授業

14:15 2年1組下校

14:20～14:45 協議会（Teams）

学校長 挨拶

分科会提案・自評

研究協議

14:45～15:30 指導講評

講師 福生市教育委員会教育部

指導主事

指導主事

竹内 秀礼 先生

田畑 圭洋 先生

### 協議の視点

- タブレット型端末を活用して、町探検への道順を考えた活動は、全員の児童が考えを共有したりグループで1つの考えにまとめたりすることに適切であったか。
- 黒板の掲示物は、児童が自分の考えをもつための手だてとなっていたか。
- 振り返りの場面で、グループで発表する活動は、共感的な雰囲気話し合う中で、町探検への意欲を高めることができていたか。また、この活動が生活科における気付きの手だてとなっていたか。

謝辞 副校長

## 授業内容・協議会について

教科 生活科 単元名「まちが大すきたんけんたい」

(せいかつ なかよしひろがれ 下 教育出版)

本時の目標 探検の場所や目的を明確にして話し合い、自分が伝えたい場所や人のいる場所に気づき、友達と協力して探検の計画を立てることができる。

本時のめあて グループではなしあって、たんけんコースをきめよう。

### 目指す児童像

「自らの学習を調整しながら、粘り強く、課題に取り組むことができる子」

### 目指す児童像に迫る手だて

#### ア. グループ活動の充実

東西南北で、それぞれグループをつくり、自分たちで探検の道順を決めることで、主体的に学習に取り組むことができるようにする。グループで道順を決める際には、一人一人の思いや願いを受け止めて、共通点や相違点を見だし、グループで合意形成を図っていく。またグループ活動を行うときには、単元を通してオクリンクを活用し、自分の考えを必ずオクリンクに送り、全員の考えを共有し、それを見て比較することができるようにする。

#### イ. ICT 機器の活用

##### ① タブレット型端末

フィールドワーク（実際の町探検）では、タブレット型端末のみをもって調べ学習を行う。準備してきたものを確かめたり、メモをとる（文字に残す）、写真を撮るなどの記録をしたりする活動をタブレット型端末1台でできる技能を身に付ける。また、フィールドワーク中や、事後の学習で記録を共有したり（Teamsの活用）、フィールドワークでは調べきれなかったことを調べたり（Google mapの活用）して、学習の充実を図っていく。

##### ② 大型テレビ

児童の成果物を大型テレビに映し、児童のがんばりやよさを共有する。共有することで、生活科の見方・考え方を広げたり、まとめる技能を高めたりすることができるようにする。

#### ウ. 振り返りの充実

終末に「はじめて知ったこと」「次にしてみたいこと」などを発表する場を設定する。グループごとに行い、全員が言うことができるようにすることで、自分の思いや願いを具現化して主体的になったり、友達の思いや願いに共感して意欲的になったりすることができるようにする。

\*\*協議について\*\*

\*\*短冊は3色あります。

グループでなく、各自で書いてください。14:15頃までに記入してください。

青・・・よかった点

赤・・・改善点

黄・・・質問等

司会	小林
記録 (写真)	小畑
動画配信 (Teams)	藤橋
協議会 (紙・マジック・マグネット等)	岡・井澤・前野
会場設営 (ホワイトボード・PC・HDMIコード・テレビの準備も)	
協議会 記録	前野
飲み物・コップ・お盆等の用意	小林

短冊の紙とマジックは  
参観する各教室に置いて  
おき、分科会ごとに  
書いてもらう。

## 校内研・研究授業の授業参観のしかたについて

分科会ごとに参観のしかたを下記のようにします。

分科会	参観場所	2年1組での参観時間
国語科分科会	2年2組	13:20~13:35
算数科分科会	算数科室	13:35~13:50
理科・生活科分科会	図書室	13:50~14:05

## 授業参観

- ・管理職の先生方、講師の先生方、分科会の先生方のみ、2年1組で参観してください。
- ・その他の先生方は上記の教室にて Teams で参観し、入室時刻になりましたら2年1組に入り参観してください。
- ・Teams での配信は、次のように行います。  
「令和4年度・六小一般」の Teams で、小林が開く会議に参加してください。  
小畑先生のタブレットで教室全体を、藤橋先生のタブレットで児童の手元を映します。  
 ご自分のタブレットで、両方の画面を観ることができます。  
イヤホンをお持ちの方は、使っていただけると、お互い聞きやすいと思います。
- ・各教室または、協議会会場の学校図書館にて、短冊の作成をお願いします。

## 研究協議会

- ・研究協議会は、学校図書館で行います。
- ・短冊をホワイトボードに貼りますので、書き終わりましたら研究推進部に渡してください。  
 よろしく願いいたします。

研究推進部